様式第17号（第６関係）

認定畜舎等の滅失届出書

年　　　月　　　日

　茨城県知事　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　届出者の住所又は

　　　　　　　　　　　　　　　　　　主たる事務所の所在地

　　　　　　　　　　　　　　　　　　届出者の氏名又は名称

　　　　　　　　　　　　　　　　　　届出者の連絡先

代表者の氏名

　下記のとおり、認定畜舎等が滅失したので、畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律第13条第２項の規定により、届け出ます。

記

１　滅失した認定畜舎等に係る畜舎建築利用計画の認定番号及び認定年月日：

２　滅失した認定畜舎等の所在地：

３　滅失の理由：

（備考）

用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

様式第19号（第８関係）

取下げ届出書

　　年　　月　　日

　茨城県知事　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　届出者の住所又は

　　　　　　　　　　　　　　　　主たる事務所の所在地

　　　　　　　　　　　　　　　　届出者の氏名又は名称

　　　　　　　　　　　　　　　　届出者の連絡先

 代表者の氏名

　下記の申請を取り下げたいので，届け出ます。

記

１　申請の種類

□　法第３条第１項の認定

□　法第４条第１項の変更の認定

□　法第６条第２項ただし書の規定による認定

２　申請年月日

３　取下げの理由

４　備考

様式第20号（第９関係）

認定畜舎等の利用状況定期報告書

年　　　月　　　日

茨城県知事　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　報告者の住所又は

　　　　　　　　　　　　　　　　　　主たる事務所の所在地

　　　　　　　　　　　　　　　　　　報告者の氏名又は名称

　　　　　　　　　　　　　　　　　　報告者の連絡先

代表者の氏名

下記のとおり、認定畜舎等の利用の状況について、畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律第13条第１項の規定により、報告します。

記

１　畜舎建築利用計画の認定番号及び認定年月日：

２　認定畜舎等の所在地：

３　認定畜舎等の概要

（１）番号：

（２）種類

　□飼養施設　□搾乳施設　□集乳施設　□堆肥舎

（３）構造

　□Ａ構造畜舎等　　□Ｂ構造畜舎等

４　利用の状況

（１）番号：

（２）認定畜舎等における畜産業の内容

①家畜の種類・頭数（堆肥舎の場合は排せつ物を処理する家畜の種類・頭数）

　　　イ　家畜の種類：

　　　ロ　頭数：

②飼養形態：

③家畜排せつ物の処理方法：

（３）利用基準の遵守状況

①畜舎等の１日当たりの滞在者数及び滞在時間

（Ａ構造畜舎等・Ｂ構造畜舎等共通）

□午前0時から午前4時まで及び午後10時から午後12時までの間、やむを得ない場合を除き、畜舎等で睡眠する者の数を零としている。

（Ｂ構造畜舎等の場合）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 家畜排せつ物の搬出及び畜舎等の清掃 | 飼料の調理・給与及び家畜の観察 | 搾乳（畜舎内搾乳） | その他畜舎等内における作業（診療、種付け等） |
| 滞在人数 | 　　　　　人 | 　　　　　人 | 　　　　　人 | 　　　　　　人 |
| 滞在時間 | 　　時間／人 | 　　時間／人 | 　　時間／人 | 　　　時間／人 |
| 延べ滞在時間 | 　　　　時間 | 　　　　時間 | 　　　　時間 | 　　　　　時間 |
| 合計 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　時間 |

　　　□通常時において、畜舎等における１日当たりの最大滞在者数及び延べ滞在時間を次の数値以下としている。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 畜舎等の床面積 | 最大滞在者数 | 延べ滞在時間 |
| □1,000㎡以下 | ４人 | ８時間 |
| □1,000㎡超2,000㎡以下 | ８人 | 16時間 |
| □2,000㎡超3,000㎡以下 | 12人 | 24時間 |
| □3,000㎡超 | 16人 | 32時間 |

②避難経路確保の取組

（Ａ構造畜舎等・Ｂ構造畜舎等共通）

　　　□災害時の避難に支障を生じさせないよう、避難経路上に当該経路をふさぐ物品を存置していない。

□２以上の避難口を特定している。

③災害による被害の防止又は軽減に資する取組

（Ａ構造畜舎等・Ｂ構造畜舎等共通）

　　　□様式第23号を畜舎等の見やすい場所に表示している。

　　（Ｂ構造畜舎等の場合）

　　　□定期的な避難訓練の実施に関する記録を作成し、少なくとも一年間保存している。

□畜舎等に立ち入る者に対し、災害時の避難方法に関する事項を説明している。

④第19条本文又は第20条ただし書の規定の適用を受ける畜舎等における取組

　　（Ａ構造畜舎等・Ｂ構造畜舎等共通）

　　　□定期的な消火作業に関する訓練を実施していることに関する記録を作成し、少なくとも一年間保存している。

□火を使用する設備又はその使用に際し、火災の発生のおそれのある設備の周辺及び渡り廊下に可燃物を存置していないことに関する記録を作成し、少なくとも一年間保存している。

⑤備考

（注意）

①　☐がある場合は、該当する☐に✓印を付けること。

　②　３　及び４　は報告に係る認定畜舎等ごとに記入すること。報告に係る認定畜舎等の数が１の時は「番号」に「１」と記入し、認定畜舎等の数が２以上のときは、認定畜舎等ごとに通し番号を付したうえで、記入欄を追加して認定畜舎等ごとに記入するか、第２番目以降の認定畜舎等について別紙に必要な事項を記入して添えること。

（備考）

用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

様式第22号（第14関係）（木板、プラスチック板その他これらに類するものとする。）

|  |  |
| --- | --- |
| 　 | 35cm以上 |
| 25cm以上 | 　 |
| 　 | 畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律による認定済（　構造畜舎等） | 　 |
| 認定年月日・番号 | 　　　　　年　　　月　　　日　　　　　第　　　　　　号 |
| 認定した者 | 　 |
| 認定計画実施者氏名（名称） | 　 |
| 設計者氏名 | 　 |
| 工事監理者氏名 | 　 |
| 工事施工者氏名 | 　 |
| 工事現場管理者氏名 | 　 |
| 備考 | 　 |
| 　 |

（注意）

　①　「畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律による認定済」は、変更の認定を受けた場合は、「畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律による変更の認定済」とすること。

②　（　　構造畜舎等）には、「Ａ構造畜舎等」又は「Ｂ構造畜舎等」と記入すること。

③　設計者及び工事監理者が建築士の場合には、設計者氏名及び工事監理者氏名の欄にその者の一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別を併せて記入すること。

　④　設計者及び工事監理者が建築士事務所に属している場合には、設計者氏名及び工事監理者氏名の欄にその名称及びその一級建築士事務所、二級建築士事務所又は木造建築士事務所の別を併せて記入すること。

様式第23号（第14関係）（木板、プラスチック板その他これらに類するものとする。）

15cm

以上

|  |  |
| --- | --- |
| 　 | 20cm以上 |
|  | 　 |
| 　 | 畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律による認定済（　構造畜舎等） | 　 |
| 認定年月日・番号 | 　　　　　年　　　月　　　日　　　　　第　　　　　　号 |
| 認定した者 | 　 |
| 認定計画実施者氏名（名称） | 　 |
| 備考 | 　 |
| 　 |

（注意）　（　　構造畜舎等）には、「Ａ構造畜舎等」又は「Ｂ構造畜舎等」と記入すること。

（参考様式）

委任状

（計画の認定、軽微な変更の届出・工事完了届・仮使用の申請）

　私は下記の者を代理者と定め、茨城県知事に対する申請に関する手続き及び交付される文書の受領の権限を委任します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 委任する業務（該当項目をチェック） | □認定申請業務（計画変更申請業務を含む）□軽微な変更の届出業務□工事完了届出業務□仮使用認定申請業務 |
| 建築物等の名称 |  |
| 敷地の地名地番 |  |
| 委　任　先 | （氏名） |  |
| （会社名） |  |
| （住所） |  |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　住　所

　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名

（参考様式）規則第63条第１項第５号関係

避難訓練の実施に関する記録

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実施日 | 　　　年　　　月　　　　日（　　　）天候： | 記録者 |  |
| 訓練内容・災害の種類（　　火災　　・　　水害　　・　　地震　　・　　そのほか（　　　　　　　）） |
| ・想定場所 |
| ・出席者 |
| ・避難状況と反省点 |
| ・その他 |